

特色ある学校づくり推進事業通信

豊松小学校

R6.8.9(金)

第2号

文責 鈴木 尚子

「特色ある学校づくり推進事業」とは、本校が特色ある教育を行っていくために、市から予算をいただいで活動している事業です。遅くなりましたが、令和5年度の事業報告をさせていただきます。

テーマ 「自然と歴史いっぱい 野鳥いっぱい 豊松小」

1 ねらい

- 学校を取り巻く豊かな自然環境と豊富な歴史を生かした活動を進める。
 - ・野鳥に親しみ、学び、豊かな自然に進んで働きかける子どもを育てる。
 - ・校区の自然や歴史を訪ねて歩く「六所の集い」を実践し、地域を愛する心を育てる。
 - ・地域講師による「豊松小学校の歴史やよさを語る会」「仁王川を語る会」などを通して、地域のよさを学ぶ姿勢を育てる。
- 恵まれた自然環境を生かすために、校地内の環境整備を進める。
 - ・学校畑の整備活用、ササユリの保護、樹木の剪定や伐採、施肥などを進める。
 - ・校内整備には、時間と手間がかかるので、担当教員が児童・教員の指導・助言に時間をかけられるよう校内整備員の力を借りて、作業を進めていく。
- 全校でおよそ40名という少人数を生かした活動を進める。
 - ・縦割り活動を軸とした温かい人間関係づくりに努める。
 - ・子ども一人一人を支援し、心に不安を抱えている子どもへの相談活動を行うために、心の相談員を配置する。

2 活動内容

- 自然環境を生かした活動の推進
 - ・愛鳥活動…野鳥の観察と学習
 - ・緑の少年団活動の推進…自然愛護・自然体験活動
 - ・地域深訪学習の推進…「六所の集い」の計画と実践
- 生活科・総合的な学習の時間を通して学ぶ自然と関わる学習
 - ・ササユリ生育のための環境整備 ・学校畑を利用した野菜栽培
 - ・花と緑の豊かな学校環境作り
 - ・校内整備…校内整備員による樹木の剪定や草取りなどの環境整備
- 少人数（全校44名）を生かした活動の推進
 - ・縦割り活動を軸とした温かい人間関係づくり…心の相談員による支援
 - ・読書に親しむことによる心の教育…保護者や地域の方による読み聞かせ
 - ・地域講師による学習支援

3 成果と課題

- 春と冬の二度の探鳥会や1月から行われている冬の愛鳥週間での学習を通して、地域で鳥を見かけたり鳴き声が聞こえたりすると「あれはジョウビタキだね。」「カケスが鳴いているね。」など、日々の生活の中で子どもたちの会話に鳥の話題が出ている。
- 六所の集いでは、松平地区を探訪した。事前に6年生が高月院の住職や東照宮の宮司から話を聞いて学び、その成果を当日下級生や保護者に伝えることができた。多くの保護者が参加し、子どもたちと一緒に地域の史跡を巡ったり、地域の人々と触れ合ったりすることで地域のよさを再発見できた。
- 校内整備員を配置したことで、校舎内外の樹木や学校畑などが整備されるようになった。時間が少なかったため、公務手や管理職、地域ボランティアを募って足りないところは整備を進めているが、常に整備されている状態にするのは難しかった。来年度は時間を増やすことを検討している。
- 心の相談員を配置したことで、心に不安を抱えている子どもへの相談活動や居場所づくりを行うことができた。

4 保護者・地域への情報発信の取組実績

- 「特色ある学校づくり推進事業通信」を計7回発行し、ホームページに掲載して情報発信に努めた。
- 特色ある学校づくり推進事業に関わる行事を全校、教職員、保護者、地区の方で実施した。
- 民生児童委員・主任児童委員連絡会や学校運営協議会で、特色ある学校づくり推進事業の活動の様子を報告した。